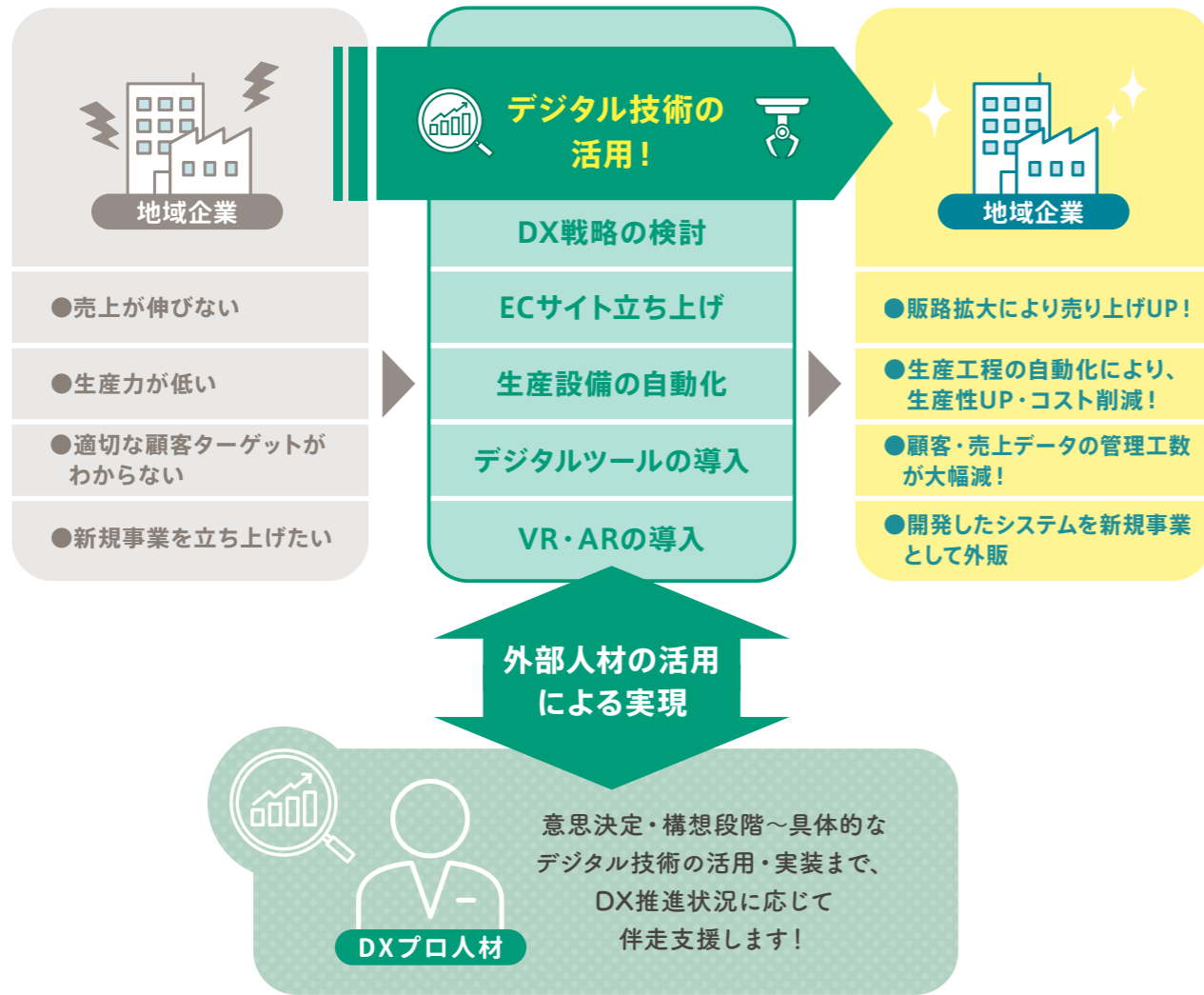


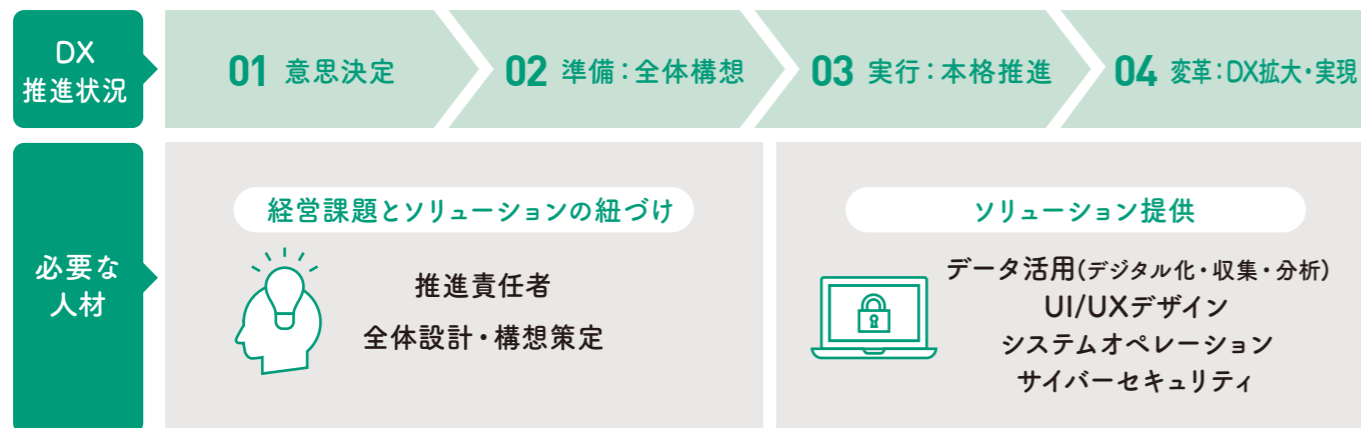
DXによる経営課題の解決とDXプロ人材の活用

デジタル技術を活用することで、経営課題を解決しませんか？



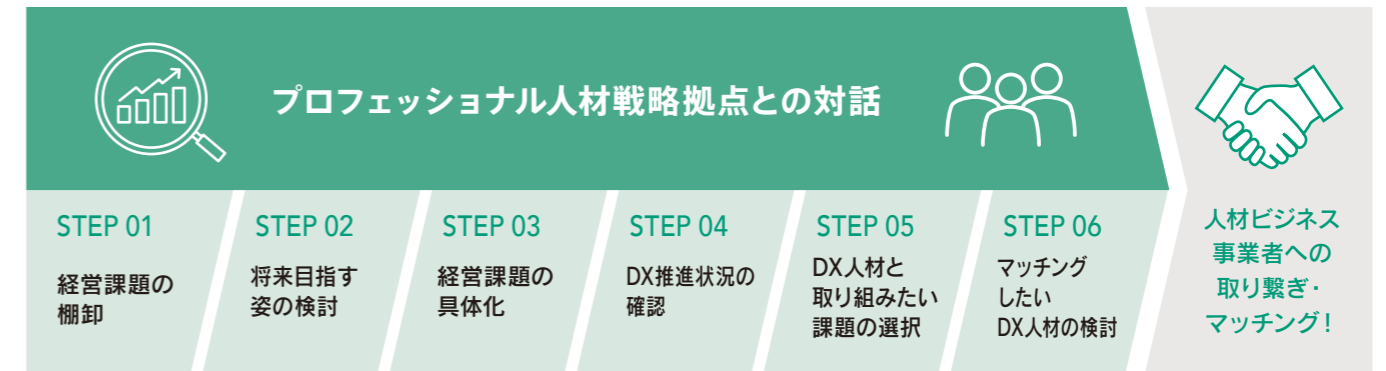
貴社のDX推進状況に基づいたDX人材タイプ*1

DXプロ人材を活用することで、DXを推進する際の伴走支援者を得ることができます



*1 経済産業省「デジタル人材育成プラットフォームについて」(2022年3月)を参考に作成

プロ拠点によるDXプロ人材の獲得に向けた手順*2

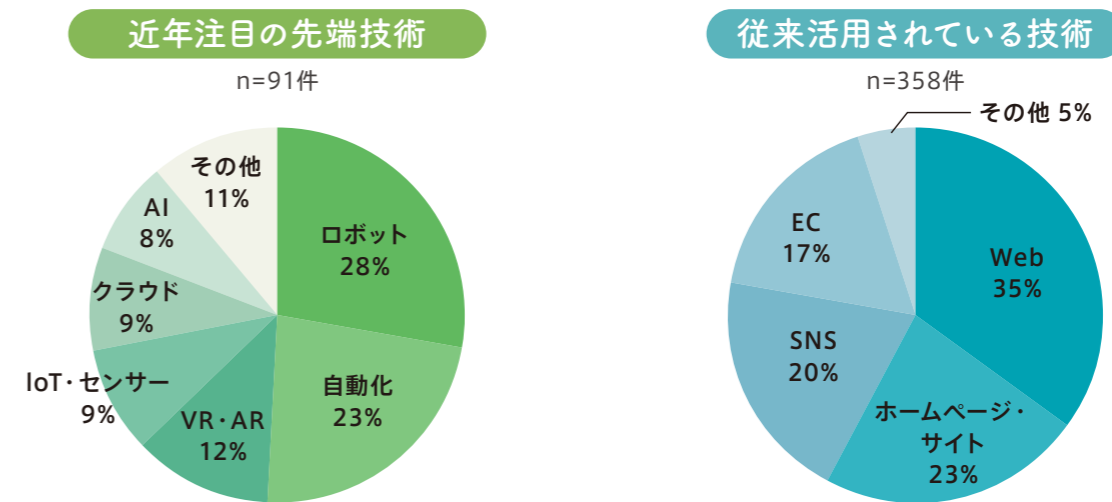


*2 経済産業省「ふるさとCo-LEADプログラムガイドライン」を参考に作成

DXプロ人材の支援により導入できる主たる技術



プロフェッショナル人材事業におけるDX人材の成約データ(令和4年度)



令和5年度(4-6月)では、「DX戦略」(全体構想・準備段階)のニーズが多くなっており、実行前の準備段階でもDXプロ人材が活躍中です

事例
01老舗文具店からデジタル企業への転換、
事業承継を支援・達成事業
継承

宮城県 (株) 高山

DX人材のタイプ

システムオペレーション

サイバーセキュリティ

導入技術

オンライン化

業種・企業規模 小売・従業員18名

業務遂行手段 遠隔業務と月数回の対面会議

契約形態 雇用契約(フルタイム)

プロ拠点の支援 企業訪問にてICT関連人材のニーズを把握。拠点開催の求人ニーズ説明会への参加を提案。説明会を通して翌年、プロ人材を採用

当時のDX推進状況 03 実行：本格推進

課題

文具事業の長期的な衰退とコロナ禍による売上減少を踏
まえた企業変革

DXプロ人材のミッション

事業承継・事業転換

DXを推進するにあたって、経営者の「企業を変革する」意思に共感するDXプロ人材の採用に至り、社内のデジタル化・オンライン化・新商品サービス開発を進め、約2年でDX伴走支援型事業(特にサイバーセキュリティ支援)へと事業転換を達成した。肯定的・前向き思考なDXプロ人材により、①生産性向上、②時間・コスト削減、③働く幸せ・健康経営、④時流適合×DX化に取り組んでいる。宮城県サイバーセキュリティ対策講演を4度受託するなど多くの実績を上げ、経済産業省による「DX認定企業」にも認定された。

事例
02生産管理システム、会計管理システム(ソフト)の導入支援と
工場の業務効率化に向けてのDX推進の伴走支援生産性
向上

秋田県 MEP (株)

DX人材のタイプ

システムオペレーション

導入技術

AI

業種・企業規模 製造・従業員45名

契約期間 1箇月更新(2021年2月開始～現在も継続中)

費用 1箇月5万円

業務遂行手段 事務所での業務

契約形態 業務委託契約(請負型)

プロ拠点の支援 「システムづくりでどのような生産管理をしたいのか」に向けた、工程管理の可視化と原価管理の可視化支援

当時のDX推進状況 03 実行：本格推進

課題

自前の生産管理システムと属人的な管理手法・生産調整
からの脱却による高利益体質化

DXプロ人材のミッション

AIを活用した新システム導入による、受注変動に柔軟に
対応した生産効率の最大化

会社全体でスピード感をもってDX推進をするべく、AIを活用した需要予測、自動シフト作成、在庫生産管理等の豊富な実績を持つDXプロ人材と契約。見積・受注・材料手配・工程進捗・出荷まで一元管理し、携帯端末によるデータ入力、図面管理と画像データの一元化で全製造工程の見える化を確立、さらに生産性向上により内製化率を高めることを目標に、全社員に向けた研修会の実施等から取組を開始している。

事例
03

警備業における現場教育のDX (VR ゴーグルの開発)

経営
管理

千葉県 (株) なのはな警備

DX人材のタイプ

全体設計・構想策定

導入技術

VR

業種・企業規模 警備・従業員104名

契約期間 研修システムの完成まで(18箇月)

費用 1箇月10万円~20万円(ピーク時)

業務遂行手段 全て遠隔業務

契約形態 業務委託契約(準委任型)

プロ拠点の支援 DMアンケートをもとに経営者のニーズを丁寧にヒヤリング。経営課題を深掘し、人材ビジネス事業者に取り次いだ

当時のDX推進状況 02 準備：全体構想

課題

- ①警備品質の維持・向上
- ②人材教育の効率化・均一化と質の向上
- ③新規事業への国の事業補助金活用

DXプロ人材のミッション

VR研修システムのプログラム構想・仕様検討、人材育成・
研修、新規事業にかかる計画策定

他社との競争激化を踏まえた経営の効率化・差別化、新たな収益源確保に向けて、副業・兼業のDXプロ人材と契約。難易度の高い危険な警備にかかる現場訓練へのVR活用のアドバイスを得たことに加え、最新の技術トレンドを踏まえたVR研修システムの開発プロジェクトにおけるベンダーの選定・交渉などを一から担当してもらった。DXプロ人材の新規事業開発やマーケティングに関する知見も活かして同研修システムを同業者に外販する方向性も固まり、国の事業再構築補助金も採択された。

事例
04

鑄造現場のIT・IoT 化推進による品質管理力の向上

技術力
強化

広島県 友鉄工業(株)

DX人材のタイプ

全体設計・構想策定

導入技術

データ活用

IoT

業種・企業規模 製造・従業員95名

契約期間 当初6箇月(期限後6箇月延長)

費用 1箇月40万円

業務遂行手段 遠隔業務と月数回の対面会議

契約形態 業務委託契約(準委任型)

プロ拠点の支援 期間限定での外部専門人材活用を提案、取引金融機関からの後押しもあり、対応可能な人材をマッチング

当時のDX推進状況 02 準備：全体構想

課題

- ①鑄造工程上の品質管理データが紙ベースであり、不具合発生時の要因特定やデータ分析が属人的かつ非効率
- ②社員のデジタルスキルが不足

DXプロ人材のミッション

ITツール導入による品質管理力の向上(紙情報のデータ
化・データ分析の効率化)とデジタルスキルの向上

DXプロ人材の活用により、紙ベースの情報をデータ化する仕組みを作り、品質管理上足りない現場データをIoT技術を使って新たに設備から抽出・一元化の上、不具合発生時には全ての数値を瞬時に確認できるようにした。また、分析BIツールの導入による効率的な要因特定の仕組みを作ったことで、社員が分析・オペレーションスキルを習得して継続的な運用が可能になった。IT・IoTツールを用いた現場改善の風土が醸成され、全社的なデジタルスキルの向上につながった。